

1. 混合飼料の糖質源として多量の糖質中に少量及び微量の他種糖質を添加した場合、それらの添加糖が動物に及ぼす影響を生長は勿論その他諸般の観点から調べた。

2. 白鼠の飼料の標準組成を、カゼイン22.0%、脂肪9.0%、塩類混合2.5%、ビタミン混合1.0%、糖質源65.5%とし、基本飼料には蔗糖のみを用い正対照用とした。この糖質中の3%に今回は難消化物であるペクチン、繊維、寒天を添加した。又夫々の飼料にイノシトールも添加し、各添加糖の動物の栄養に対する影響を、見かけの生長及び各栄養効率によって比較検討を行った。

3. ① 見かけの体重は繊維添加群が優れ、次いで蔗糖群、ペクチン群、寒天群の順になった。尚イノシトールの影響ははっきり見られなかった。

② 各栄養効率で比較すると、蔗糖群が最も優れ、難消化糖質3%添加群は何れも劣っていた。

③ 各群について飼料摂取量や、飼料の質と、夫々の栄養効率の内容との関連を検討した。